

岡山大学文学部主催:公開講演会「後期ローマ帝国における貧困と危機」ご案内

岡山大学大学院社会文化科学研究科共催

日時 2009年3月21日(土) 午後2時から5時 (入場無料)

場所 岡山大学(津島キャンパス) 文化科学系総合研究棟2階共同研究室

プログラム

3月21日(土) 14:00-15:30

講演題目 「古代末期における危機管理—キリスト教司教書簡に見るその証言」

(Crisis Management in Late Antiquity: The Evidence of Episcopal Letters)

講演者: ポーリーン・アレン教授(Prof. Pauline Allen)

前国際教父学会(AIEP/IAPS) 会長・オーストラリアカトリック大学初期キリスト教研究センター所長

会場では英語での講演原稿が配布され全文通訳がつきます。

司会: 出村和彦 岡山大学文学部・社会文化科学研究科准教授 通訳: 上村直樹 東京学芸大学非常勤講師

15:40-17:00

質疑応答 質問は英語でも日本語でも構いません。

司会と通訳: 戸田聡 一橋大学非常勤講師

なお、講演会に先立ち、同日[21日(土)]同会場で

13:00-13:50 公開研究報告会

日本学術振興会・二国間交流事業共同研究:

「転換期における「貧困」に対する取り組みの共同研究—初期キリスト教をモデルにして」

研究報告と提題「アウグスティヌスにおける貧困の現実と内面化」

報告提題者: 出村和彦准教授(日本側研究代表者) ポーリーン・アレン教授(オーストラリア側研究代表者)

も公開で行われます。併せてご聴講いただければ幸いです。

問い合わせ先: 岡山大学大学院社会文化科学研究科(文), 哲学・思想文化論講座 出村和彦

700-8530 岡山市津島中3-1-1 電話・ファクス: 086-251-7396